

人材不足 バブル期に匹敵

桐生商議所の経営安定セミナー

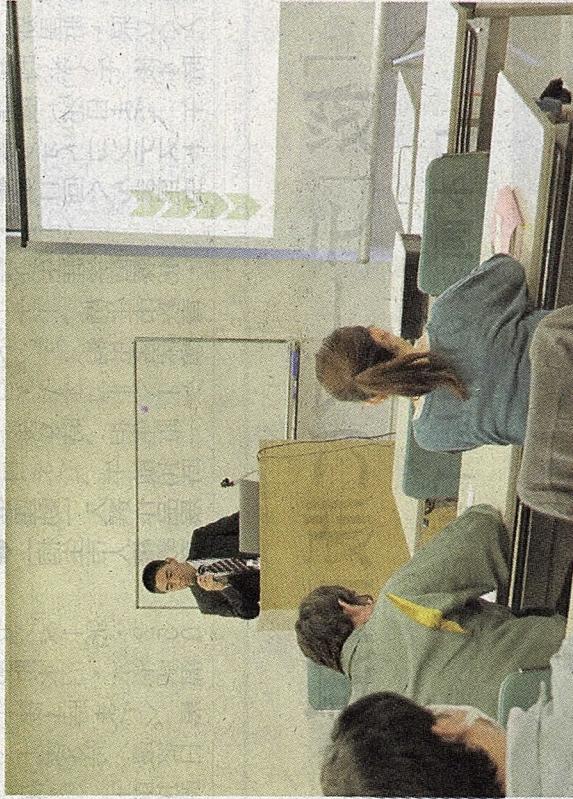
「労働環境整備が不可避」

桐生商工会議所(山口正夫会頭)の経営安定セミナーが16日、同会議所会館で開かれた。社会保険労務士で、いばた労務管理事務所(みどり市笠懸町)の池田幸扶さんが「人材不足の時代『採用難』を乗り切る」と題して語った。経営者ら19人が出席した。

従業員との意識共有有効

池田さんは労働力となる世代の人口の減少がこれから確実に訪れ、求人倍率の高さが

現状、バブル期にも匹敵する水準であることを指摘。人材が定着しない会社は人材不足



人材の採用難を乗り切る方策を示した経営安定セミナー

に陥り、事業継続に支障をきたす恐れを指摘した。

離職を防ぐ鍵として、長時間労働にならないことや、育児介護への対応、会社の将来とビジョンを明確に示す、社員が成長できる環境が整っている、適切な労務管理ができている一を列挙。「この会社で頑張りたいと思える環境整備が不可避」と訴えた。

自社の経営課題を明確にする上で、理想とする会社のイメージ、現状と課題、解決策を書き出し、従業員と共有するのが有効だとアドバイスした。

働き方の多様化も進み、在宅勤務や職務・勤務地限定、1日の勤務時間を増やしたり、時短による週4日勤務正社員といった仕組みを説明。在宅勤務は週1回から2回の許可制で取り入れる企業も増えているとし、多様な働き方を認め取り入れることで「意識の高い社員を採用できる」と見解を述べた。導入の際は労働条件の提示などに留意すべきとし、各種の雇用関係助成金と「直近で解雇がないなどの申請条件も解説した。

経済

群馬県よ
来月7日

経 済 短

群馬県よろず支
点の成果報告会が
7日、前橋市古市
ホテルラシーヌ新
で開かれる。

4部構成。第1
「たごりきい
くえるグループ」
キッチン雑貨とし
商品を連発して、
オークス(新潟県
市)代表取締役の
俊さんが「社員
度日本一を目指
と題して基調講
る。

第2部はよろず
拠点の成果報告。
第3部はパネル討論会
第4部が情報交換
時間は午後1時
ら。参加無料。定

東京でU・Iター

2日間で約100

県は3月2日と11日、東
京都新宿区の新宿エルタ
7-30階で「U・Iター
合同企業面接会「ATOK
YO」を開く。

首都圏の大学などに通
県内出身の学生らのUター
ン・Iターン就職を進める
一環で催す。2日間で約1